

キッズみんなの日記

7月号

優秀作品紹介



夏の訪れを感じる7月がやってきました。青空が広がり、太陽が燦々と輝くこの季節は、自然の美しさと活気に満ち溢れています。ただ、現代の夏は私が子供の頃の夏と比べると非常に暑い日が続きますので、外で遊ぶときは特に、水分補給を忘れないようにしてくださいね。

さて、もうすぐ夏休みが始まりますね。キッズの皆さんは今かかと楽しみにしていることでしょう。夏休みは新しい冒険や経験を絶好の機会です。海や山への旅行、花火大会、夏祭りなど、イベントが目白押しです。からね！そんな中、七月半ばからは夏期講習が始まり、皆さんの努力が実を結ぶ時期でもあります。暑い中の勉強は大変かもしれませんが、皆さんの頑張りが未来への大きな一歩に必ずなります。先生達と一緒に頑張りますようにね。

今月号の「みんなの日記」ですが、家族とお出かけをしたことや学校でのプールの内容が印象的でした。私は自称「千葉のトビウオ」ですが、プールはそんなに好きではありません。だって、思ったよりも寒いじゃないですか。でも、そんなことは子供達には関係ありませんね。彼らは「楽しい」という気持ちの方が強いわけですから。何事も「嫌」という気持ちを持つと、その全てが暗く見えてしまいます。勉強も同じです。だから、勉強も楽しみながら、前向きに頑張ってもらいたらいいなと思っています。

それでは、今月号の「みんなの日記」をお楽しみくださいませ。みんなにとって、この七月が素晴らしい思い出に満ちた月となりますように…。

★自分の思いを伝える★

プール

ぼくは今日プールへ行きました。あつかったのもとてもいいかったです。

きがえて、プールに入ると、ウォーター

スライダーをしました。

とってもたのしいので、

「楽しいね！」

と言いました。

とっても楽しかったです。



(小三 ARくん)

やっぱり夏はプールですよ！「暑かったんで、良い機会」という表現が、当日が暑かったことを強調しています。会話を使うところも良いですよ！楽しそうな様子がしっかりと伝わってきますね。

できなかったプール

おとといプールの予定だったんですけど、雨がふってしまいできませんでした。そのときは、なきました。

その日は、四時間

じゅぎょうでしたが、

いつもよりやるきは

なくなりました。

月ようびにプールが

ある予定なので、

月ようびがたのしみです。



(小四 SSさん)

プールに入れなかった悔しさや悲しみが「泣く」という表現に凝縮されています。子供たちにとってプールに入れないのは本当に辛いですね。次回に入れることを祈っています！

ララポートに行った

今日は船橋のララポートに行きました。

家族で最初に行ったのは、ユニクロです。ユニ

クロにいったら、

お父さんが、

「めずらしい洋服

かつぎった。」

とてれくさそうに

言っていました。

次に、靴下屋に

行ってお母さんが、

「木の葉がらかわ

いな。買っちゃおうかな。」

と言っていました。

これから家族といっしょにお出かけし

たいです。

会話を上手に使うことにより、買

い物に行った時の家族の雰囲気を知り、表現

できていますね！読み手を温かい気持ちにさせる

日記です！これからも家族でお出かけしてね！

(小四 SCさん)



いよいよプール

今日は、プールの

前日です。なので

友だちとプールの

話をしたり、きのう

だけど、プールの

じゅんぴをしました。

「さいしよに友だちと、

プールでなにをするんだろうね。」

と話しました。それとプールバックをかわ

すれてお母さんにかつてもらいました。み



☆☆出来事や気持ちを

より細やかに伝える☆☆

ピッチングスピードけいそく

一か月に一回あるけいそく日だった。ぼくは楽しみにしていた。

そしてじゅんぴ運動をした。最初にぼく

のけいそくだった。少しくんちようしてい

た。

けいそくがおわってけい果は最高九十八

kmで、最低は九十四kmだった。最高記

録を出せなかったのてくやしかった。

するとコーチが

「次は百五km以上

をめざして。」

と言った。ぼくは

「はい。」

と言った。

次のけいそくはコーチに言われた百五km

以上を出せるように、家で練習をして

次のけいそくにそなえたい。

（小五 KKくん）

次の計測に向けての強い意志を感じ

る日記です。計測時の緊張感も伝わってきます

よ！次回目標を達成できるよう、陰ながら応援

しています！



本

私の好きな本は『ウタイテ』です。私が好きな理由は三つあります。

一つめの理由は、絵がかわいからです。白黒だけど伝わってくるからです。

二つめの理由は、れんあいでキョクキョクしてしまいう所です。

物語の中に出てくるこのライバルとかが好きです。

三つめの理由は、

何度も見返せる所です。一回目は文、二回目は写真(絵)とかに注目しながら見るとおもしろいし、あきません。

だから改めて私はこの本が大好きです！

(小五 MKさん)

自分の好きな本について、どこが好きなのかということを確認にし、わかりやすく紹介していますね！「キョクキョク」という表現も可愛らしくて良いですよ！お見事です！

ニワトリ

今日は絵画教室でニワトリの水さしとフルーツの線画を描いた。物が少なくなくて描きやすいが、むずかしい部分が二つある。

一つ目は、ニワトリの水さしだ。そもそも水さしがニワトリの形なので、曲線が多く描きにくい。そしておなかの部分には、花などの模様が描かれていて、その模様が細かく、描きにくい。

二つ目は、背景だ。

背景にはギンガム

チェックの布があり、

中央から横に向けて

少しずつなめにする。



横線は、おくから手前に向けてはばを広くする。これらを見ると、より立体感が出る。

これらの線画をしっかり描くことで、ぬる時に楽になる。

(小六 KMさん)

絵を難しきやポイントを読み手にわかりやすく説明できています！これは細かい部分までちゃんと書いていることがその要因ですね！皆さんも真似してみましょう！

からあげ

今日ひまだったのだからあげについて考えました。

お母さんのからあげは、

小さくしてかりかりとしたころも



をしています。おばあちゃんのから

あげは、大きく肉じりがたくさんでてきます。じゅくのとなりのからあげ屋さん

は、大きくてころもがかりかりで肉じりがたくさんで子どもの夢がふつたからあげです。

からあげは、おいしいということがわかりました。

(小六 FMくん)

唐揚げに対しての考察が面白くて、おもわずクスと笑ってしまいました。「子供の夢がふつた」という表現もとても印象的です。皆さんも日々の生活でふと思ったことを書いてみるのもいいかもしれませんよ。

学力テスト

今日、じゅくで学力がありました。このテストの結果でじゅくのクラスがかわるのでとてもドキドキしながらテストを受けました。

最初に、算数のテストから始まりました。算数は、時間配分を少しまちがえてできなかった問題が二問ほどありました。

次の国語のテストでは、全ての問題をうめることができました。

テストの結果を早く

知りたくて、バスの

中でもとてもハラハラ、

ソワソワしていました。

今のクラスに残れたら、

とくいをのびしたいし、

クラスが落ちて

しまったら実力を見直し、努力してゼミにもどりたい、という気持ちでいっぱいです。

テストの結果がとてもたのしみです。

(小六 TAさん)

勉強に対してとても前向きで、心から応援したくなる、そんな日記ですね！文章の構成も良く、日記として完成しています。お見事です！

畑でのしゅうかく

今日は、玉ねぎと、じゃがいもをしゅうかくするために、おじいちゃんの畑へ行きました。

おじいちゃんの畑につくと、私は長くつにはきかえ、さっそく玉ねぎをしゅうかくしました。けれど妹は、虫とりあみで、ちよ

うちよをつかまえては、虫ごにいられて、畑の手伝いではなく、虫とりをしていました。

玉ねぎをしゅうかくしおわって、次は、じゃがいもをしゅうかくしました。けれど、だんご虫や、ミミズ、なめくじ、わらじ

虫など、たくさん虫がいたので、虫が苦手な私には、少しきびしいことでした。

なんとかしゅかくしおわり、やっとおわったと思ったら、また別のところに、玉ねぎが



あり、その玉ねぎもしゅうかくしおわったので、玉ねぎの根などを、はさみで切りました。どんどん切つて、もうすぐおわるぞというときに、おじいちゃんが、また玉ねぎを持ってきました。なので、私はまたはさみで切りました。そしてもうすぐおわるぞというときに、また玉ねぎがききました。おじいちゃんの畑は、そこまで広くないのに、どうしたらそんなにたくさん玉ねぎが出てくるんだらうと、おどろきました。

まわりをみて

みると、私のお父

さんやお母さん、

おじいちゃんたちは

畑仕事をして

いるのに、妹は、虫とりをしたり、ジュースを飲み、おかしをたべながらくつろいでいたりして、ずるいと思いました。

玉ねぎの根などすべて切り、すべてならべて、やっと全部の仕事が終わりしました。

玉ねぎの数をなんとなく、数えて、計算してみると、千五十個でした。私は、これをもし売ったら、どうなるんだらうと思いました。こんなにたくさん野菜を育てていておじいちゃんも大変なんだなと思いました。

畑でのどかな様子と大量の玉ねぎが目に見えますね。「まだあるの」と読み手をくすくす笑わせてくれ、穏やかな気持ちにさせてくれます。心情も豊かで素晴らしい日記です。

(小六 MKさん)



●「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、info@kondai.comまたは、編集担当▼藤田 n-fujita@kondai.com まで、ご一丁ご寄せください。皆様のご意見を参考に、より良い紙面作りに努めて参ります。

